



新発寒地区連合町内会  
くにいかずお  
國井和夫さん



複数の町内会で協力して、主に子供たちを対象に「雪に親しむつどい」を行っています。雪像やアイスキャンドル作りのほか、雪の中でさまざまなゲームを楽しみます。冬は外で遊ぶところがない子供たちは、このような機会をつくってほしいのだと感じます。雪捨て場にされてしまう公園など、どうにかならないものかと思うのですが…。

一般参加の市民から

通学路に駐車している人がいるので、子供たちはそれを避けて車道を歩かなければなりません。また、排雪が年に1回しかないで、雪で歩けないなどの危険があります。子供たちの安全のためにもう少し努力をお願いします。

市長から

路上駐車は、歩道を歩けなくなるだけでなく、除雪の妨げにもなります。子供たちが危険にさらされるような状況を回避するために、市としても警察と協力していかなければなりませんし、学校からもそのような状況を報告してもらうことも含めて検討したいと思います。

北海道工業大学の学生から



私の大学では、部活動をしている人たちが集まってごみ拾いなどをしていますが、冬も通学路の歩道の除雪や砂まきなどもしたいのではないかと考えています。

市長は、大学生の除雪の役割についてどのようにお考えですか。

市長から

市内の各区に大学があるので、地域のまちづくりへのかかわりがとても重要になってきます。学生の自由な発想や行動力が火種となり、除雪だけでなく、まちづくりの活動にいい影響を与えてくれることを期待します。

市長から

私が子供のころは、雪を踏み固めて作った土俵で相撲をしたり、雪穴を掘って遊んだりしていました。雪遊びを知らない子供たちがいる現状を変える必要があるため、外で遊べる快適さをつくらなければならないと思っています。子供は、大人が楽しむ姿を見て、雪遊びの楽しみ方を知るので、子供と積極的にかかわっていくことはとても大切なことです。札幌の子供たちが、この街で育ったことを自慢できるようになってくれると、札幌はもっとすてきな街になるだろうと思います。

「雪と上手に付き合うまちづくりを」

住民参加で街が変わる

広げよう!  
まちづくりの輪



手稲山口運河まつり  
実行委員会事務局長  
いざわしゆき  
伊澤 敏幸さん

「運河まつり」を  
星置のまちづくりへつなぐ

手稲区  
星置まちづくりセンターの巻  
☎(695) 3222

手稲山口運河まつりは、開拓の歴史財産である「山口運河」を守り育て、子供たちにふるさとの歴史を伝えたいという地域の人たちの思いから、平成九年に始まりました。運河の歴史や役割を伝えるため、米俵を載せた船を浮かべて試乗するコーナーがあり、毎回子供たちに人気があります。また、特産品のかぼちゃやスイカの重さ当て、スイカの早食い競争など、地域の特性を生かした楽しみが盛りだくさんです。

手稲山口運河まつりは、開拓の歴史財産である「山口運河」を守り育て、子供たちにふるさとの歴史を伝えたいという地域の人たちの思いから、平成九年に始まりました。運河の歴史や役割を伝えるため、米俵を載せた船を浮かべて試乗するコーナーがあり、毎回子供たちに人気があります。また、特産品のかぼちゃやスイカの重さ当て、スイカの早食い競争など、地域の特性を生かした楽しみが盛りだくさんです。

実行委員会では、「一日限りの祭り」で終わらせるのではなく、運河の歴史を語り継ぎ、保存する活動を通じて星置全体のまちづくり活動につなげていきたい」という思いを実現するため、(仮)山口運河保存会の設立準備を始めていきたくて考えています。その第一歩として、現在、「山口運河ものがたり紙芝居」の制作を進めています。

今後は、山口運河を祭りのステージとしてだけでなく、保存会を核とするまちづくりのステージとしても活用していきます。

星置地区はこんな街

- 1 市内で最も海に近く、かぼちゃやスイカが名産の街  
小樽の大浜海岸がすぐ目の前。その手稲山口の砂地を利用し、スイカやメロンのほか、「大浜みやこ」かぼちゃの産地として有名です。
- 2 自然と街並みが調和する街  
春は星置緑地のミズバショウ、緑豊かな山口緑地、秋は星置川のサケのそとと四季を感じながら潤いのある生活を満喫できる街です。



事務局会議に市長も参加し、制作中の「紙芝居」を鑑賞しました。

市内87のまちづくりセンターから